

# 平成25年度 研究紀要

夢や希望をもち、目標に向かって生きようとする児童生徒の育成  
～キャリア教育の視点を生かした授業改善の取組を通して～



串間市教育研究所

## はじめに

昨年度、串間市教育研究所では、児童生徒のキャリア発達を促すために、キャリア教育の実践の場として中核となる特別活動、特に、学級活動に焦点を当てて研究を進めました。そして、小・中・高等学校の発達段階を踏まえた系統表を作成するとともに、キャリア発達を促す学級活動の在り方について有意義な研究を進めることができました。

本年度は、昨年度の研究の成果と課題をもとに、「夢や希望をもち、目標に向かって生きようとする児童生徒の育成～キャリア教育の視点を生かした授業改善の取組を通して～」という研究主題のもと、昨年度に引き続いてキャリア教育について研究を進めることにしました。

具体的には、「キャリア教育の視点」をもとに、各教科等の学びを意図的に関連付けた全体構想を作成し、研究授業を行いながら、キャリア教育における各教科等の指導の在り方を究明する実践的な研究に努めてきました。また、キャリア教育の概要や研究を通して整理したキャリア教育の進め方を、教職員向けのリーフレットにまとめることにしました。このリーフレットを作成したのは、市内の教職員がキャリア教育についての理解を一層深め、串間市が一体となってキャリア教育に取り組むことができることを願ってのことです。

串間市のキャリア教育の発展を念頭に、研究所員が研究授業と協議を積み重ね、児童生徒の姿をつぶさに見据えたなかから見えてきた成果の一端をまとめたのが、この研究紀要です。

この紀要は、今後キャリア教育を学校レベル、個人レベルで推進するのに役立つ内容になっていると確信しています。教育研究所の研究成果を各学校で一人一人の先生方が活用し、児童生徒一人一人に学習の意義を感じさせながら、社会的・職業的自立を促していただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、多用な中に情熱をもって取り組んでいただいた研究員の先生方やお力添えをいただいた関係小・中学校の校長先生方に心から感謝申し上げます。



平成25年3月

串間市教育委員会

教育長 土肥 昭彦

# 目次

はじめに

I 研究主題	1
II 主題設定の理由	1
III 研究目標	2
IV 研究仮説	2
V 研究構想	2
VI 研究内容	3
1 研究の基本的な進め方	3
2 リーフレットの作成	3
(1) キャリア教育の必要性について	3
(2) キャリア教育で育成すべき力について	3
(3) キャリア教育の進め方	4
3 キャリア教育の視点を意図的に関連付けた授業実践	6
(1) 小学校での実践 ～第1学年（生活科）～	6
(2) 小学校での実践 ～第2学年（生活科）～	8
(3) 小学校での実践 ～第5学年（学級活動）～	10
(4) 中学校での実践 ～第2学年（学級活動）～	12
(5) 中学校での実践 ～第2学年（学級活動）～	14
(6) 中学校での実践 ～第3学年（数学科）～	16
VII 成果と課題	18
1 成果	18
2 課題	18
○ 引用・参考文献	18
○ 研究同人	18

## 資料

○ キャリア教育の道しるべ（キャリア教育実践のためのリーフレット）	19
○ アンケート、チェックシート	23
○ 串間市教育研究所研究発表会における説明資料（プレゼンテーション）	28

## I 研究主題

# 夢や希望をもち、目標に向かって生きようとする児童生徒の育成 ～キャリア教育の視点を生かした授業改善の取組を通して～

## II 主題設定の理由

日本の様々な分野において構造的な変化が起こる「知識基盤社会」が到来し、情報化・グローバル化・少子高齢化などにより、子どもをとりまく環境もめまぐるしく変化している。この社会環境の変化は、子どもにとって将来を考える上で理想的なモデル（大人）が見つげづらい、自分の将来を描きにくいなどの問題をもたらしている。そのため、学生の立場から就業者の立場への移行がスムーズに行えない若者や、目的をもった進路選択や将来計画が希薄なままに進学したために、進路変更をしなければならない学生が増加し、社会問題にもなっている。こうしたことを踏まえ、変化の激しい社会を生き抜く力を持ち、様々な課題に柔軟に対応できる職業的・社会的に自立した子どもを育成するキャリア教育の推進が強く求められている。

串間市では、「学力向上」と「地域に貢献できる人材の育成」を目指して、平成20年度から小中高一貫教育をスタートさせ、くしま学や読書教育などの取組を通して、校種間の連携を深めてきた。キャリア教育に関しても、キャリア教育部会を設置し、キャリア教育に関する児童生徒アンケート調査や、手引書の作成などに取り組んできた。

小中高一貫教育の組織にも位置付けられている本研究所では、平成24年度よりキャリア教育の研究を行っている。そして、キャリア発達を促す学級活動の指導の在り方を中心に研究し、串間市におけるキャリア教育の全体構想、学級活動におけるキャリア発達の課題をもとにした指導内容や能力の系統表、発達段階を踏まえた学級活動の授業の在り方について市内の学校に提案することができた。しかし、学級活動の内容に焦点を当てて進めてきた研究を各教科へ広げていく必要があることや、これらの取組が児童生徒の学習意欲に結びつくまでにいたっていないことなどが課題としてあげられた。

そこで今年度は、キャリア教育の視点を生かした授業改善を通して、夢や希望をもち、目標に向かって生きようとする児童生徒の育成を図ることとした。そのために、昨年度の研究を発展させ、『つなぐ、つなげる教育』を目指し、次の2点を軸に研究を進めていく。

一つ目は、教職員がキャリア教育についての理解をより深めることができるためのリーフレットを作成することである。本市の教職員は、キャリア教育の重要性を理解しているものの、教育活動の中にキャリア教育が十分に取り入れられているとはいえない。このリーフレットの活用により、キャリア教育の指導の在り方等が明らかになり、教育活動がさらに充実するであろうと考えられる。

二つ目は、「キャリア教育の視点」をもとに、児童生徒の心を揺さぶる体験を中心に各教科等の学びを意図的に関連付けた全体構想を作成し、授業を実践することである。このことにより児童生徒の学びの質が高まり、児童生徒は学習の意義を見いだしたり、学習意欲が向上したりするであろうと考えられる。

これらの取組を継続することにより、児童生徒が、自己の将来や就きたい職業、生き方について深く考えるとともに、現在の各教科や特別活動における学習が、自分の将来に役立つと考え、主体的に学校生活を送るようになって考えられる。また、「学ぶこと」の意義を自覚した児童生徒は、生涯を通して、自分の将来につながる「今」を充実させるために、現在をどのように生活すればよいか常に考え、実行できるようになると考えられる。そのような社会的にも職業的にも自立し、自分らしい生き方ができる人格の形成を支援する教育を目指し、本主題を設定した。

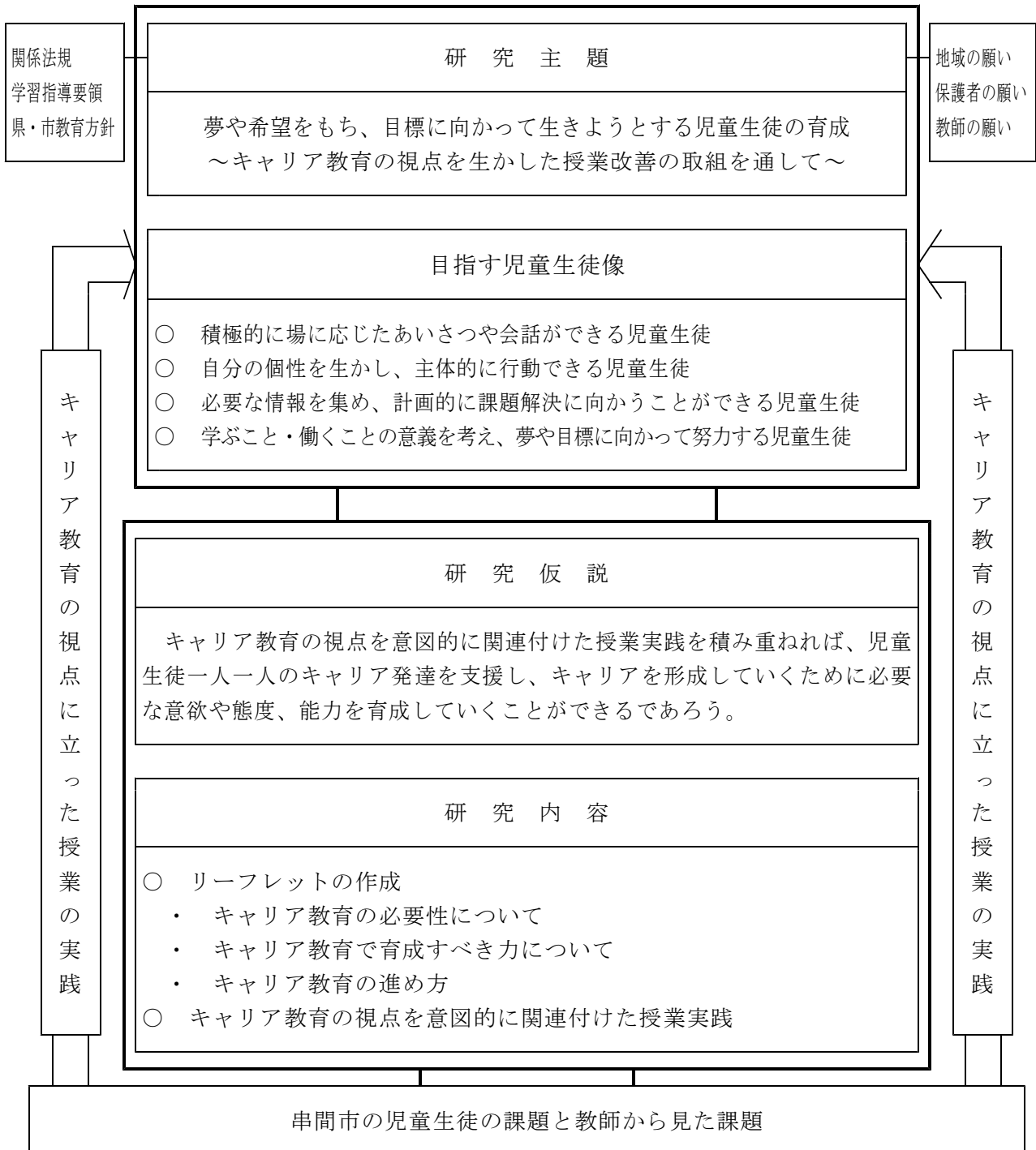
### Ⅲ 研究目標

夢や希望をもち、目標に向かって生きようとする児童生徒の育成を図るために、キャリア教育の視点を生かした授業づくりの在り方について究明する。

### Ⅳ 研究仮説

キャリア教育の視点を意図的に関連付けた授業実践を積み重ねれば、児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、キャリアを形成していくために必要な意欲や態度、能力を育成していくことができるであろう。

### Ⅴ 研究構想



## VI 研究内容

### 1 研究の基本的な進め方

今年度、本研究を進めていくに当たって、教える側である教職員がキャリア教育について理解をより深める必要があると考え、キャリア教育の進め方等を整理した。そして、「キャリア教育の道しるべ」というリーフレットを作成することと、それをもとに授業を行い検証すること、という2つの研究の柱を立て、研究を進めていくことにした。

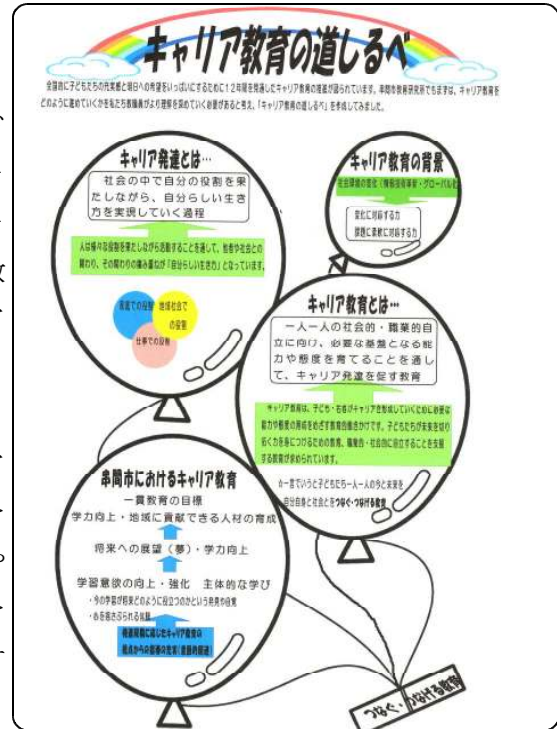
### 2 リーフレットの作成

#### (1) キャリア教育の必要性について

このリーフレットのはじめに、文部科学省の「キャリア教育の手引き」をもとに「キャリア教育の背景」「キャリア教育とは」「キャリア発達とは」「串間市におけるキャリア教育」について、右のように整理し、キャリア教育の必要性についてまとめた。

#### (2) キャリア教育で育成すべき力について

小・中学校の児童生徒一人一人のキャリア発達を促し、それぞれふさわしいキャリアを形成していくために必要な基盤となる能力や態度である4つの「基礎的・汎用的能力」を分かりやすい言葉にするために次の名称にすることにした。



【キャリア教育の道しるべ】

### 分かりやすく置き換えたキャリア教育で育成すべき力 (☆目指す児童生徒の姿例)

#### ○ 人や社会にかかわる力 ← 人間関係形成・社会形成能力

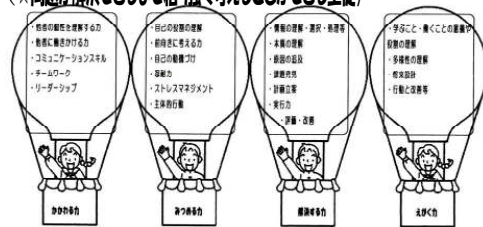
多様な他者の考え方や立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。(☆自分の気持ちや意見を分かりやすく話すことができる児童)

#### ○ 自分をみつめる力 ← 自己理解・自己管理能力

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。(☆問題が解決できるまで粘り強く考えることができる生徒)

#### ○ 課題を解決する力 ← 課題対応能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。(☆見通しをもって課題を解決することができる児童)



#### ○ 将来をえがく力 ← キャリアプランニング能力

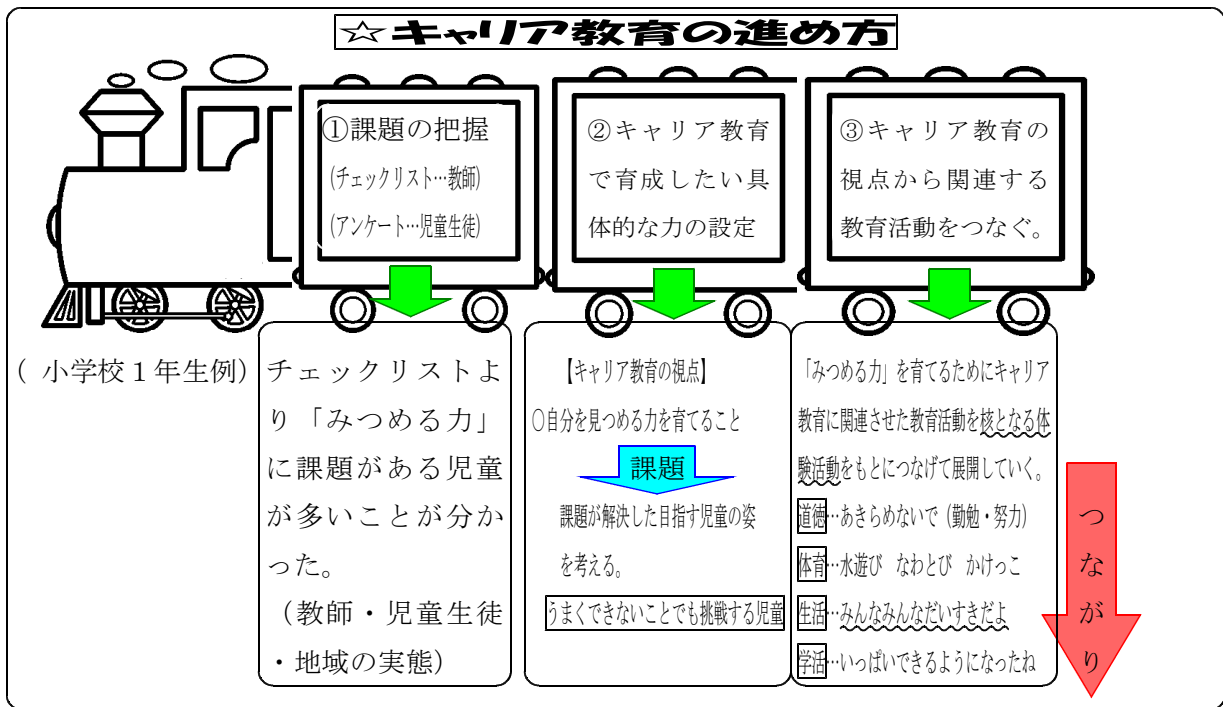
「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。(☆将来の進路希望に向けて自ら主体的に判断し行動できる生徒)

【キャリア教育で育成すべき力】



### (3) キャリア教育の進め方

『本物に学ぶ』体験活動の意義は、本物に触れることで、子どもが他者の生き方や社会、歴史や自然などをより実感できることにある。体験活動を取り入れた学習は、社会の一員としての自分の価値への気付きや他者への共感的理解の深まりが期待できる。また、働くことや学ぶことへの意欲の向上、既習事項の活用や新たな知識の獲得への意欲を高めることにも効果的であると考えられる。そこで、本研究では、キャリア教育を進めるに当たって、核となる体験活動をもとに、関連する教育活動をつなげることが大切であると考えた。関連する教育活動をつなぐことによって、それぞれの教育活動の質を高めるとともに、キャリア教育で育成したい力も効果的に高めていくことができると考え、キャリア教育の進め方を以下のように展開していくことにした。



#### ア 児童生徒の実態把握について

キャリア教育を進める最初の段階として、児童生徒のキャリア教育の視点から見た課題を把握する必要がある。そこで、文部科学省から出されている「キャリア教育の手引き」をもとに、日常生活を振り返るチェックリストやアンケートを作成した。このチェックリストは、キャリア教育ではぐくむ4つの力(かかわる力・みつめる力・解決する力・えがく力)のどれに課題が見られるかを把握する手がかりになるように、小学校1～3学年用、小学校4～6学年用、中学校用、保護者用、教師用を作成した。

**日常生活アンケート (4～6学年用)**

年 名 前 ( )

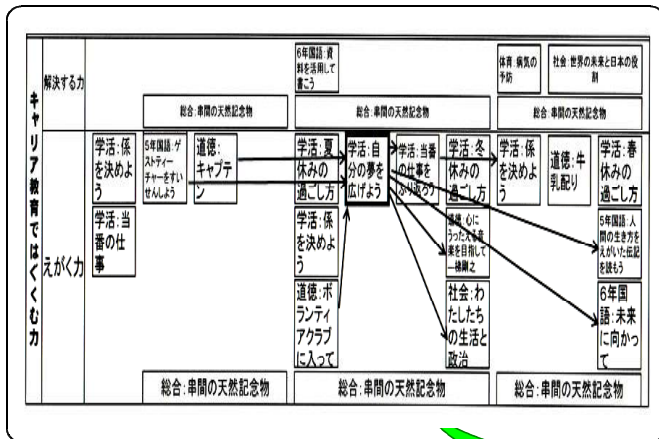
これはテストではありません。あなたの日常生活(授業中や放課後、家庭での生活など全てを含みます)の様子を振り返って、当てはまる番号に○をつけましょう。

	4…いつもしている	3…ときどきしている	2…あまりしていません	1…ほとんどしていません
① 友達や家族の話や話を聞くと、その人の言いたいことや気持ちを考えながら聞こうとしていますか。	4	3	2	1
② 相手にわかりやすいように、工夫しながら自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。	4	3	2	1
③ 自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、友達と協力して行動しようとしていますか。	4	3	2	1
④ 自分の興味や関心、長所や短所などについて考えようとしていますか。	4	3	2	1
⑤ 気分がしずんでいるときや、あまりやる気のないことでも、自分がしなければいけないことに取り組みようとしていますか。	4	3	2	1
⑥ 不得意なことや苦手なことでも、自分から進んで取り組もうとしていますか。	4	3	2	1
⑦ わからないことやもっと知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり積極的に質問していますか。	4	3	2	1
⑧ 何か問題が起きたとき、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えていますか。	4	3	2	1
⑨ 何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、よりよい方法を考えたりしていますか。	4	3	2	1
⑩ 学ぶことや働くことの大切さを考えたり、学校で学んでいることが自分の将来に役立つことを考えたりしていますか。	4	3	2	1
⑪ 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えていますか。	4	3	2	1
⑫ 自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。	4	3	2	1

【小学校4～6学年用アンケート】

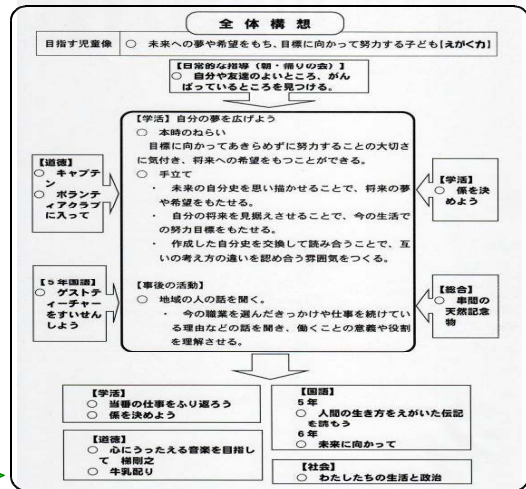
イ 重点を置いたキャリア教育の力をはぐくむ全体構想について

以下のような年間を見通せる指導計画をもとに発達段階を考慮して重点を置いた能力の育成が期待できる単元等を選択し、実践化を図るようにした。その際、他教科等とのつながりも考え、核となる体験活動を決定し、具体的な手立ての工夫や改善を行っていくようにした。



【年間指導計画一部抜粋】

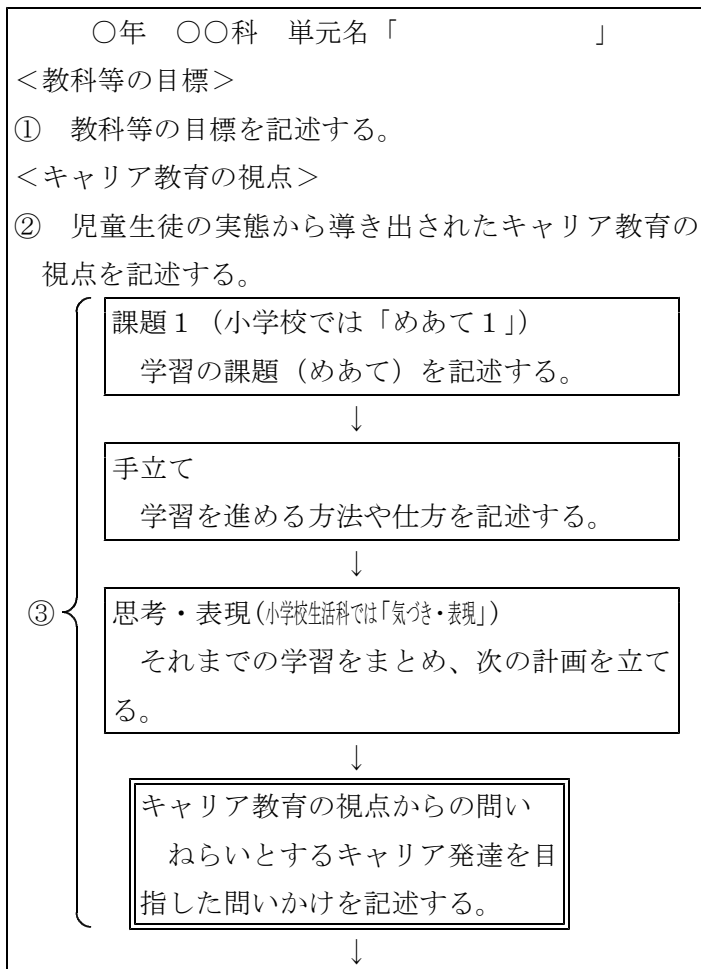
(小学校5・6年生例)



【育成したいキャリア教育の力の全体構想】

ウ 「キャリア発達支援の流れ」について

キャリア教育の視点から見た学習を進めるに当たって、教師が単元や題材などの学習でキャリア教育を意識して授業を行っていくことが大切であると考えた。そこで、本研究では、「キャリア発達支援の流れ」という作業シートを作成して授業を行うことにした。



【キャリア発達支援の流れ】

- ① 教科等の目標を記述する。
- ② キャリア教育の視点を記述する。  
この視点は、前述の児童生徒の実態把握に関するアンケート等の結果を受けて設定したキャリア教育で育成すべき力の一つである。
- ③ これらの目標や視点(力)を達成するために、課題や手立て、思考・表現といった学習の流れを計画していく。その際、②の力が児童生徒に身に付けられるよう、キャリア教育の視点からの問いを考える。こうした問いによって、児童生徒の学習の意義を理解させたり、学習意欲を高めたりし、最終的に育成すべき力を児童生徒が身に付けられるようにしていく。こうすることで児童生徒のキャリア発達を促すことができると考えた。

\* 詳細については、後述の「キャリア教育の視点を意図的に関連付けた授業実践」参照。



### 3 キャリア教育の視点を意図的に関連付けた授業実践

本研究では、「キャリア教育の道しるべ」の「キャリア教育の進め方」に従って、意図的にキャリア教育の視点と関連付けた授業実践を行った。

#### (1) 小学校での実践～第1学年～

##### ア 課題の把握

本学級の児童のキャリア教育の視点から見た課題を把握するために、教師用のチェックリストを使い実態を把握した。本学級の児童は、「みつめる力」に課題がある児童が多く、うまくできないことでも進んで取り組める児童が少ないことが分かった。

##### イ キャリア教育で育成したい具体的な力の設定

チェックリストの結果を受けて、「うまくできないことでも挑戦する児童」を目指す児童像とし、「みつめる力」を育成するための授業を実践していくことにした。

##### ウ キャリア教育の視点から関連する教育活動をつなぐ

###### (ア) 「みつめる力」をはぐくむための全体構想

うまくできないことでも挑戦する児童育成するために、生活科の単元「みんななんだいすきだよ」で行うお家の仕事名人に仕事のこつを教えてもらう体験活動を核として、道徳や他教科の学習を意図的に連付けた全体構想を作成した。

そして、各教科等での学びと関連付けることを意識して、「みつめる力」をはぐくむための手立てを工夫したり改善を図ったしながら授業実践を行った。

###### (イ) キャリア発達支援の流れ

核となる体験活動であるお手伝いのことを教えてもらう単元「みんななんだいすきだよ」の授業を進めるに当たって、キャリア教育の視点を意識することができるよう、キャリア発達支援の流れを作成した。

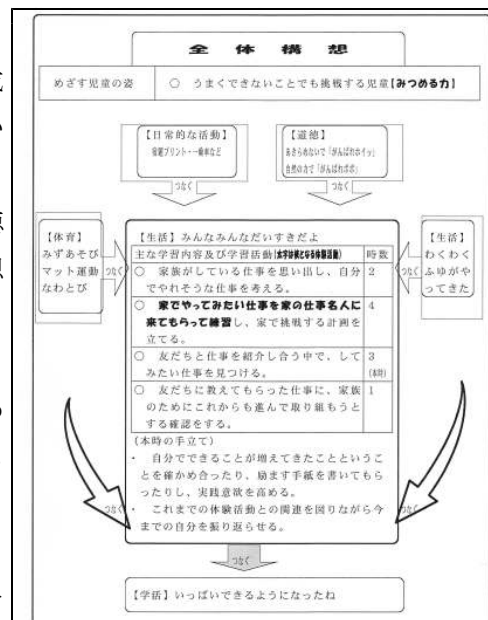
「キャリア教育の視点からの問い」を設定することで、各時間、常にうまくできないことでも挑戦しようという「みつめる力」を意識させることを積み重ねるようにした。

##### エ 授業実践

###### (ア) 単元名「みんななんだいすきだよ」

###### (イ) 本時の目標

- 友だちと仕事を紹介し合う中で、してみたい仕事を見つけたり、友だちのよいところに気付いたりすることができる。


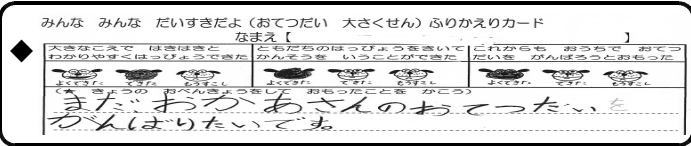


【「みつめる力」をはぐくむための全体構想】

教科の目標	1年 生活科 単元名「みんな なんだいすきだよ」
キャリア教育の視点	○ 家族の仕事や役割がきによってできていることに基づき、家族の一端として自分の役割を担うことと、期正しい生活を営むことができる。
キャリア教育の視点	○ うまくできないことでも挑戦する児童【みつめる力】
【学び・実践】	自分を中心にして家族がどのようなことをしているのか、家族が自分のためにやってくれていることに気づかせる。
【めあて】	1. お家の仕事や役割を、きかそう。(自分の家族の仕事や役割などを書き出す。) 【2時間】
【手立て】	家の仕事や役割、ワークシートをみる。
【学び・実践】	自分が見つけたお仕事名人について、友だちに紹介し、自分にもできそうなやってみよう仕事をする計画を立てる。
【めあて】	【キャリア教育の視点からの問い】 自分たちは家族のために進んで仕事をやっているか、家族のためにできる仕事を増やすにはどうすればいいか。
【めあて】	1. お家の仕事や役割を、きかそう。(自分の家族の仕事や役割などを書き出す。) 【3時間】
【手立て】	【キャリア教育の視点からの問い】 友だちの家族が何の仕事に挑戦できそうな仕事か。
【めあて】	1. お家の仕事や役割を、きかそう。(自分の家族の仕事や役割などを書き出す。) 【4時間】
【手立て】	【キャリア教育の視点からの問い】 自分たちが家族のために進んで仕事をやっているか、家族のためにできる仕事を増やすにはどうすればいいか。
【めあて】	1. お家の仕事や役割を、きかそう。(自分の家族の仕事や役割などを書き出す。) 【5時間】
【手立て】	【キャリア教育の視点からの問い】 自分たちが家族のために進んで仕事をやっているか、家族のためにできる仕事を増やすにはどうすればいいか。
【めあて】	1. お家の仕事や役割を、きかそう。(自分の家族の仕事や役割などを書き出す。) 【6時間】
【手立て】	【キャリア教育の視点からの問い】 自分たちが家族のために進んで仕事をやっているか、家族のためにできる仕事を増やすにはどうすればいいか。

【キャリア発達支援の流れ】

(ウ) 学習指導過程

過程	学習内容及び学習活動	○配慮事項 ◆授業中の児童の反応☆評価（方法） ◎キャリア教育の視点からみた重要なこと
導 入	<p>1 めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>いえで ちようせんしたことを しょうがい、もつとじぶんに できることを見つけよう。</p> </div> <p>○ 紹介し合う会の流れや発表するときの約束を確認する。</p>	<p>○ 発表の順番や手順の確認をし見通しをもたせるとともに、聞き手にも紹介された仕事について気付いたことやわかったこと等を発表してもらうことを伝えることによって、聞く視点をもたせるようにする。</p>
展 開	<p>2 発表コーナーで仕事をして見せたり、説明をしたりする。</p>  <p>0 食器洗い、せんたくものたたみ、お風呂洗い、くつならべ、だいふき、せんたくものほし</p> <p>3 発表を聞いて気付いたことやわかったこと、すごいと思ったこと等の感想を発表する。</p> <p>4 お家の人からの手紙を読む。</p>	<p>○ 1週間、家庭で取り組んだ仕事の中で家族の人が喜んでくれた仕事や上手なやり方を工夫した仕事等を紹介するように準備しておく。</p> <p>☆ 家で挑戦した仕事をみんなに紹介することができる。（発表・観察）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎ 実際に体験できる仕事は仕事の体験をさせるようにし、自分もやってみようという意欲につながるようにする。</p> </div> <p>◆ ペーパーサート・紙芝居・実演</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎ 児童のがんばりを励ます手紙を書いてもらったり、がんばっている様子をカメラで撮影してもらったりすることによって、できないことができるようになった喜びを味わわせたり、実践への意欲を高めたりするようにする。</p> </div> 
ま と め	<p>5 学習のまとめをする。</p>	<p>○ 発表会を受けて、どのように思ったか感想を書かせ、発表させ、他にもできることを増やしていこうという意識をもたせる。</p> <p>☆ さらに家族に喜んでもらえることを見つけようとしている。（観察・ワークシート）</p>

オ 実践の考察

- 児童は、できた経験を積み重ねることによって、他教科でのがんばりや自信につながり、以前の自分とはちがう成長した自分を感じることができたようだった。また、保護者からは、手紙や懇談の中で、子どもたちの成長を喜ぶ声が多数あげられた。
- 他教科でも苦手な運動や発表などがんばる姿が見られるようになり、児童が書いた作文の中に意欲的ながんばっている自分のことをうれしそうに書いている文も見られた。

(2) 小学校での実践～第2学年～

ア 課題の把握

本学級の児童のキャリア教育の視点から見た課題を把握するために、アンケートを実施したところ、右の結果が得られた。

かかわる力	みつめる力	解決する力	えがく力
2. 1	2. 7	2. 4	2. 7

本学級の児童は、「かかわる力」が低く、特に「自分の考えや気持ちをみんなの前で分かりやすく話そうとしていますか。」という質問項目は1.8で低いことが分かった。

イ キャリア教育で育成したい具体的な力の設定

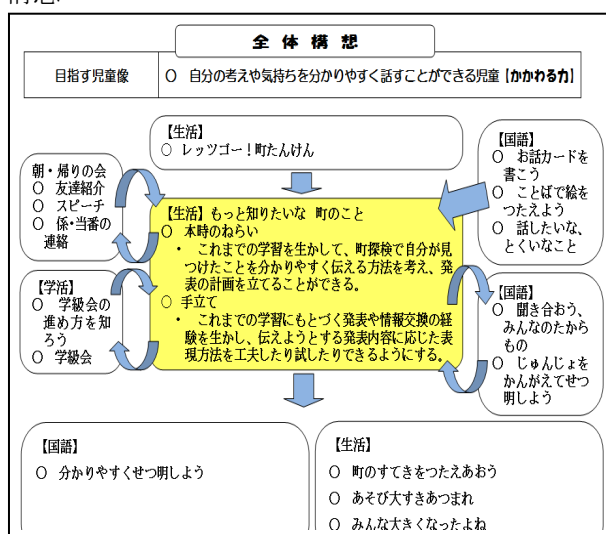
アンケートの結果を受けて、「自分の考えや気持ちを分かりやすく話すことができる児童」を目指す児童像とし、「かかわる力」を育成するための授業を実践していくことにした。

ウ キャリア教育の視点から関連する教育活動をつなぐ

(ア) 「かかわる力」をはぐくむための全体構想

自分の考えや気持ちを分かりやすく話すことができる児童を育成するために、生活科の単元「もっと知りたいな町のこと」で行う町探検を核となる体験活動として捉え、朝・帰りの会や他教科等の学習を意図的に関連付けた全体構想を作成した。

そして、各教科等での学びと関連付けることを意識して、「かかわる力」をはぐくむための手立てを工夫したり改善を図ったりしながら授業実践を行った。



【「かかわる力」をはぐくむための全体構想】

(イ) キャリア発達支援の流れ

核となる体験活動である町探検を行う単元「もっと知りたいな町のこと」の授業を進めるに当たって、キャリア教育の視点を意識することができるように、キャリア発達支援の流れを作成した。

「キャリア教育の視点からの問い」を設定することで、インタビューの練習の必要性に気付かせたり、町の「すてき」を伝えることへの意欲を高めたりした。

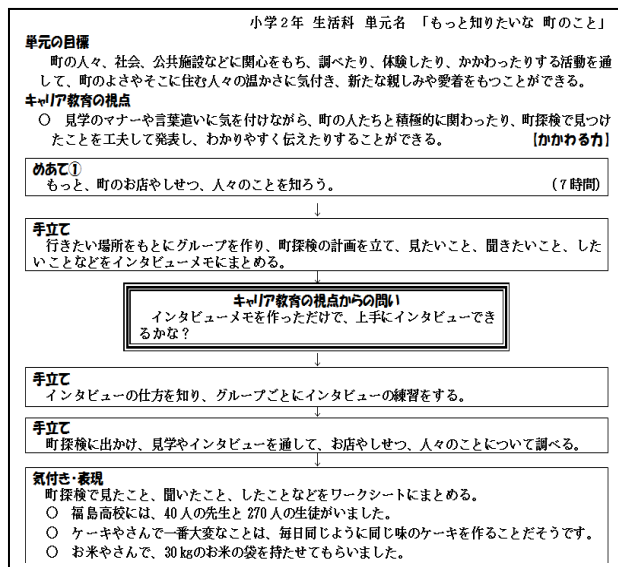
エ 授業実践

(ア) 単元名 「もっと知りたいな 町のこと」


【キャリア発達支援の流れ】

(イ) 本時の目標

- これまでの学習を生かして、町探検で自分が見つけたことを分かりやすく伝える方法を考え、町の「すてき」を紹介し合う計画を立てることができる。



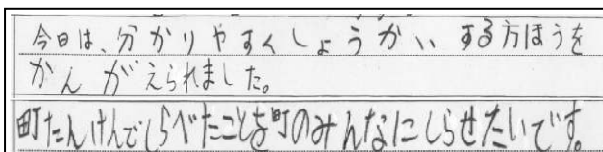
(ウ) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	○配慮事項 ◆授業中の児童の反応 ☆評価 (方法)																				
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>町の「すてき」を分かりやすくしようかいする方ほうを考えよう。</p>	<p>◎キャリア教育の視点から見た重要なこと</p> <p>○ 前時にワークシートにまとめた町の「すてき」を紹介するためには、何を必要があるかを考えさせ、本時のめあてを設定する。</p>																				
<p>2 どのような紹介の方法があるか話し合う。</p> <p>3 自分たちが見つけた町の「すてき」を紹介する方法を考える。</p>	<p>◎ 写真を提示しながら、朝の会や帰りの会、他教科の学習などで発表や情報交換をした経験を思い出させ、伝えようとする内容に合った紹介方法について整理する。</p> <p>◆ 絵・写真・クイズ・地図・本物・手をつかう・うごき</p> <p>◎ グループで相談しながら、自分たちが見つけた町の「すてき」を紹介する方法を決め、ワークシートに記入させるようにする。</p>																				
	<table border="1" data-bbox="695 842 1430 1012"> <tr> <td colspan="2">たんけんした 場所</td> <td colspan="2">たんけんした 場所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">立本さけてん</td> <td colspan="2">きたまこくてん</td> </tr> <tr> <td>しょうかいするもの・こと</td> <td>しょうかいする 方ほう</td> <td>しょうかいするもの・こと</td> <td>しょうかいする 方ほう</td> </tr> <tr> <td>場しよ</td> <td>地図</td> <td>一番ふいふいめは、何き回か。</td> <td>クイズ</td> </tr> <tr> <td>にんき</td> <td>絵紙</td> <td>きたさんのしょうかい</td> <td>げき</td> </tr> </table> <p>☆ 自分たちが見つけた町の「すてき」を分かりやすく伝える方法を決めることができる。(観察・ワークシート)</p>	たんけんした 場所		たんけんした 場所		立本さけてん		きたまこくてん		しょうかいするもの・こと	しょうかいする 方ほう	しょうかいするもの・こと	しょうかいする 方ほう	場しよ	地図	一番ふいふいめは、何き回か。	クイズ	にんき	絵紙	きたさんのしょうかい	げき
たんけんした 場所		たんけんした 場所																			
立本さけてん		きたまこくてん																			
しょうかいするもの・こと	しょうかいする 方ほう	しょうかいするもの・こと	しょうかいする 方ほう																		
場しよ	地図	一番ふいふいめは、何き回か。	クイズ																		
にんき	絵紙	きたさんのしょうかい	げき																		
<p>4 町の「すてき」を紹介する方法を発表する。</p>	<p>◎ 話し方・聞き方のポイントを意識して発表できるように、言葉かけをする。</p>																				
<p>5 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>◎ 振り返りカードに学習の感想等を記入し、発表させ、次時以降の学習への意欲を高められるようにする。</p>																				

オ 実践の考察

○ 授業実践での振り返りでは学級の 95%の児童が「町の「すてき」を分かりやすく紹介する方法が分かった」と答え、町の「すてき」を紹介することに意欲的な感想も見られた。

○ 7月と12月の日常生活アンケートの結果を比較すると、「かかわる力」が1.0伸びていた。



【児童の振り返りカード (感想)】

特に低かった「自分の考えや気持ちをみんなの前で分かりやすく話そうとしていますか。」という質問項目については1.3の伸びが見られた。さらに、その

	かかわる力	みつめる力	解決する力	えがく力
7月	2. 1	2. 7	2. 4	2. 7
12月	3. 1	3. 3	3. 0	3. 3

他の力もそれぞれ0.6伸びており、キャリア教育の視点を意図的に関連付けた授業実践をしたことによって、キャリア発達を支援することができたと考えられる。

○ 児童の意欲を高め、準備や練習をすることで、児童は自分の考えや気持ちをみんなの前で分かりやすく話そうとすることができるようになるが、それを日常生活で使える力にするには、このような実践を継続していく必要がある。



(3) 小学校での実践～第5学年～

ア 課題の把握

本学級の児童のキャリア教育の視点から見た課題を把握するために、アンケートを実施したところ、右のような結果が得られた。

かわる力	みつめる力	解決する力	えがく力
3.6	3.3	3.7	2.7

本学級の児童は、「えがく力」が低く、特に、「自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。」という項目は2.0と低いことが分かった。

イ キャリア教育で育成したい具体的な力の設定

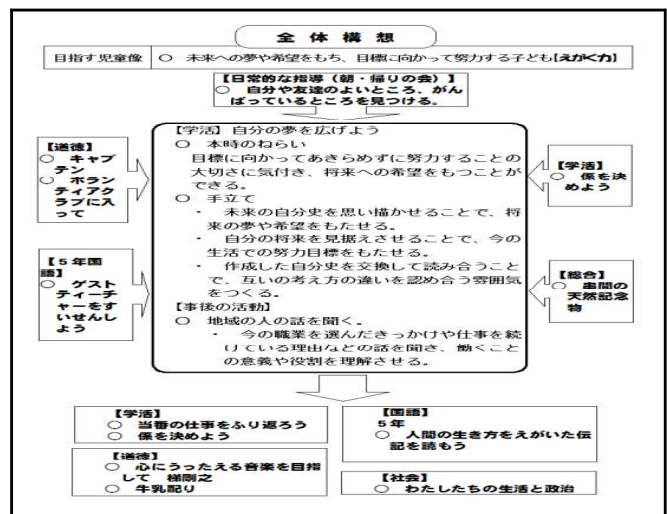
アンケートの結果を受けて、「未来への夢や希望をもち、目標に向かって努力する子ども」を目指す児童像とし、「えがく力」を育成するための授業を実践していくことにした。

ウ キャリア教育の視点から関連する教育活動をつなぐ

(ア) 「えがく力」をはぐくむための全体構想

未来への夢や希望をもって目標に向かって努力することができる児童を育成するために、学級活動の題材「自分の夢を広げよう」を設定し、地域の人に職業についての話を聞く活動や総合的な学習の時間での体験活動、他教科や道徳等での学習を意図的に関連付けた全体構想を作成した。

各教科等での学びと関連付けることを意識して、「えがく力」をはぐくむための手立てを工夫しながら授業実践を行った。

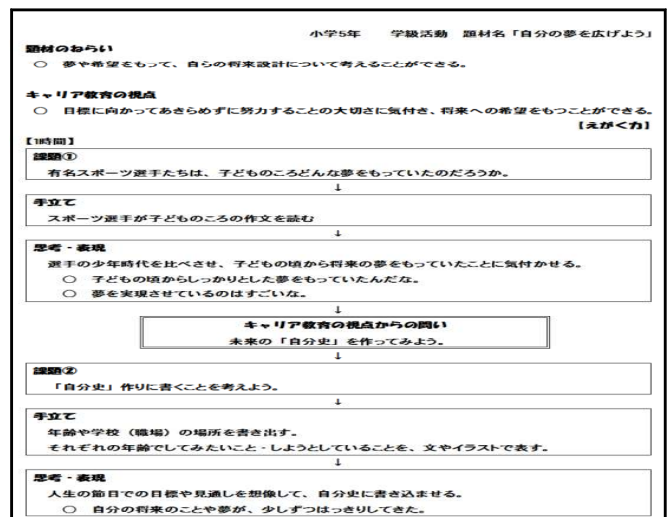


【「えがく力」をはぐくむための全体構想】

(イ) キャリア発達支援の流れ

「自分の夢を広げよう」の授業を進めるに当たり、キャリア教育の視点を意識してより効果的に「えがく力」をはぐくむために、キャリア発達支援の流れを作成した。

「キャリア教育の視点からの問い」を設定することで、教師がキャリア教育の視点を意識しながら意図的に発問したり、児童が自分の将来のことを考えながら授業に臨んだりすることができるようにした。



【キャリア発達支援の流れ】

エ 授業実践


(ア) 題材名「自分の夢を広げよう」

(イ) 本時のねらい

- 目標に向かってあきらめずに努力することの大切さに気づき、将来への希望をもつことができる。

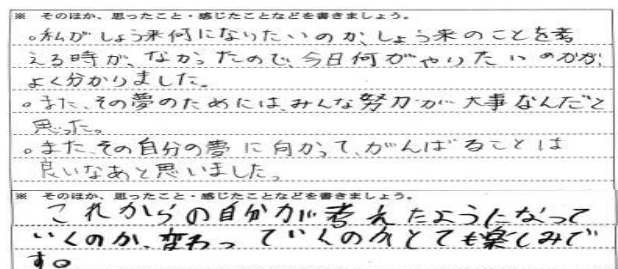


(ウ) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	○ 配慮事項 ◆ 授業中の児童の反応 ☆ 評価(方法) ◎ キャリア教育の視点から見た重要なこと
<p>1 有名スポーツ選手の作文を読み、自分の将来について考えていくことを確認する。</p> <p>未来の「自分史」を作ろう。</p>	<p>○ 作文を読んで感想を発表させ、子どもの頃から将来の夢をしっかりとっていたことに気付かせる。</p> <p>◆ 作文に書いてあること以上に、すごく活躍している。野球選手になると書いていて、本当になっていてすごいと思う。</p>
<p>2 「自分史」作りに取り組む。</p> <p>3 今やらなければならないことや、これから頑張っていきたいことを書き込む。</p> <p>4 「自分史」を交換して読み合い、感想を交流する。</p> 	<p>◎ 人生の節目での目標や見通しを想像して、自分史に書きこませる。</p> <p>☆ 自己を見つめながら、将来について自分なりの考えを表現することができる。(観察・ワークシート)</p> <p>◎ 今の自分が努力していることや、逆に努力が足りないことを考えさせることで、将来の夢の実現のために必要なことを決めるようにする。</p> <p>○ それぞれの人生に対する考え方や生き方が違うことに留意させながら、互いの自分史について肯定的に認めるようにする。</p> <p>◆ 野球を続けたいというのが分かった。Aさんは前は花屋さんになると言っていたけど、今は病院の先生になりたいということが分かった。</p> <p>☆ 互いの考えを交流し合いながら、自己を生かす方法について考えている。(観察・発表)</p>
<p>5 学習を振り返り、感想を書く。</p>	<p>○ 自分の将来を見つめながら今の生活をしっかりと頑張ることの大切さを話し、これからの意欲付けを図る。</p>

オ 実践の考察

- これまで自分の将来をはっきりと考えたことのない児童が多かったが、自分史を作ることによって、将来の夢や希望をもたせたり、今努力することの大切さなどに気付かせたりすることができた。



- 7月と12月の日常生活アンケートの結果を比較すると、「えがく力」が0.3伸びていた。特に、「自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。」という項目は1.0の伸びが見られた。

【児童の振り返りカード(感想)】

	かわる力	みつめる力	解決する力	えがく力
7月	3.6	3.3	3.7	2.7
12月	3.7	3.2	3.5	3

- 今後も他の教科等でキャリア教育の視点を意識して授業を行うことで、自分の将来の夢や目標をはっきりともたせ、そのためにどんな努力が必要なのかを考えさせることが大切である。また、将来の夢や希望の実現のために必要な資料を準備したり、働いている人の話を聞く体験を設定したりすることも必要である。

(4) 中学校での実践 ～第2学年～

ア 課題の把握

本学級の生徒のキャリア教育の視点からみた課題を把握するために、アンケートを実施したところ、右の結果が得られた。

かかわる力	みつめる力	解決する力	えがく力
2. 8	2. 8	2. 7	2. 5

本学級の生徒は、「えがく力」が低く、特に「自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしている。」という項目が2.2と最も低いことが分かった。

イ キャリア教育で育成したい具体的力の設定

アンケートの結果を受けて、「将来の進路希望に向けて自ら主体的に判断し行動できる生徒」を目指す生徒像とし、「えがく力」を育成するための授業を実践していくことにした。

ウ キャリア教育の視点から関連する教育活動をつなぐ

(ア) 「えがく力」をはぐくむための全体構想

自ら主体的に判断してキャリアを形成する生徒を育成するために、総合的な学習の時間「職場体験」を核となる体験活動とした。学級での係活動や学級活動・道徳を、意図的に関連付けた全体構想を作成した。

各教科での学びをキャリア教育の視点からつなぐことで、「えがく力」をはぐくむための授業をイメージできるようにした。

(イ) キャリア発達支援の流れ

核となる体験活動「職場体験」や他教科との関わりを意識して、より効果的に「えがく力」をはぐくむために、キャリア発達支援の流れを作成した。

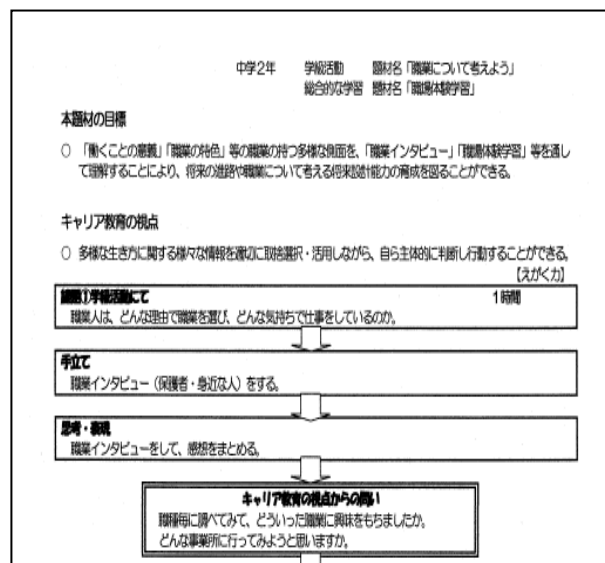
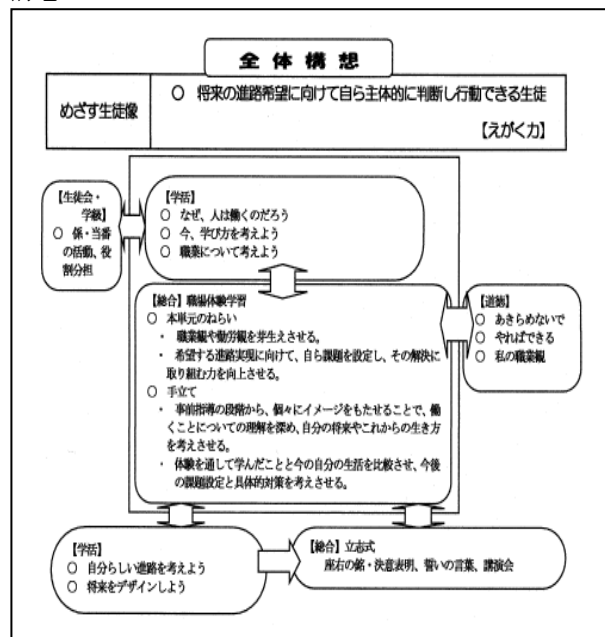
総合的な学習の時間と学級活動で、「キャリア教育の視点からの問い」を設定することにより、「えがく力」の育成をねらいとした一貫した授業を展開した。また、教師側の意識も高まり、日常生活等でも「キャリア教育の視点からの問い」を意図的に投げかけるようにした。

エ 授業実践


(ア) 題材 「職業について考えよう」

(イ) 本時のねらい

- 職場体験学習に向けて、しっかりとした心構えで臨もうとすることができる。

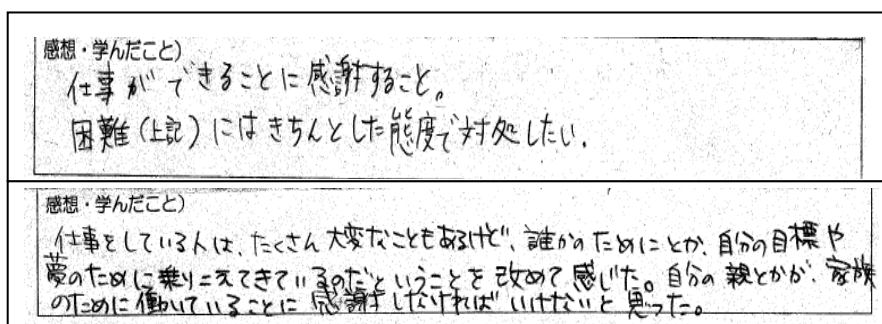


(ウ) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	○ 配慮事項 ◆ 授業中の生徒の反応 ☆ 評価 (方法) ◎ キャリア教育の視点から見た重要なこと
1 前時で、気付いたことを発表する。	○ 仕事にはやりがいもあれば、困難なことがあることを再認識させる。 ◆ どんな仕事も大変だ。自分がやりたい仕事は長く続けられる。
2 昨年度の事業所からいただいたアンケートを見て、問題点を考える。	○ 事業所の方の率直な感想を知らせ、問題は何か、改善できることはないかということで課題を設定する。 ◎ 厳しい評価を見て、職場体験学習に課題意識をもたせる。 ◆ 仕事ができることに感謝しないといけない。元気のよいあいさつや受け答えをしっかりとできるようにならないといけない。
3 課題を確認する。	
職場体験学習に向けて、どのような心構えで臨めばよいか。	
4 問題点と解決策を考える。 ○ 個人、グループで考える ○ 発表する 	○ 多くの意見を出させ、意欲的な姿勢を大事にする。 ☆ 職場体験学習に向けて、しっかりと心構えで臨もうとしている。 (発表・ワークシート・観察) ◎ 事業所毎に考えることで協力し合う態勢をつくり、より一層職場体験学習に向けて、しっかりと心構えで臨むことができる。 ◆ 子どもたちに、きちんと叱るときは、叱る。もちろん、やさしく接する。メモをとることをこころがける。積極的に活動する。笑顔で接客する。手洗いなど、衛生面に気を付ける。品物を丁寧に扱う。
5 課題が達成できたか、振り返る。	○ 職場体験学習だけでなく、先を見通して計画を立てる重要性も押さえておく。

オ 実践の考察

- ほとんどの生徒が、他者の客観的な評価や意見をもとに、自分たちの考えの甘さに気付き、問題意識をもって職場体験学習に臨むことができた。



【生徒のワークシート (感想)】

- 全体構想からキャリア発達支援の流れを作成しキャリア教育の視点に立った授業を展開したことで、係活動の充実や将来に対する思いを、日々の生活で口にする生徒が見られるようになった。

- 学校生活アンケートの結果を見ると、7月から12月まで、どの領域も0.3以上伸びたことが分かる。特に、他の領域に比べ「えがく力」が

	かかわる力	みつめる力	解決する力	えがく力
7月	2. 8	2. 8	2. 7	<u>2. 5</u>
12月	3. 1	3. 1	3. 0	<u>3. 0</u>

伸びたことは、本研究の成果とも言える。また、核となる体験活動を通して、今までに経験できなかったことを体験できたことも大きな要因であると考えられる。

- 進路実現に対する意識面・行動面では個人差がある。教師が生徒の実態を把握しながらキャリア教育の視点に立った適切な発問などを投げかけられるかが課題である。

(5) 中学校での実践 ～第2学年～

ア 課題の把握

本学級の生徒のキャリア教育の観点から見た課題を把握するために、アンケートを実施したところ右の結果が得られた。

かかわる力	みつめる力	解決する力	えがく力
2.4	3.0	2.7	3.2

本学級の生徒は、「かかわる力」が低く、特に「相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。」という項目は2.0と低いことが分かった。

イ キャリア教育で育成したい具体的な力の設定

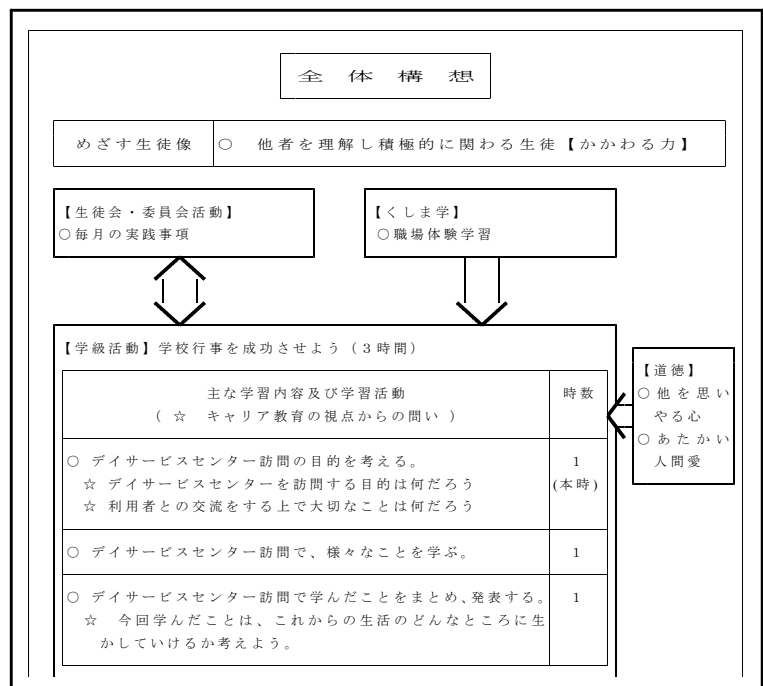
アンケートの結果を受けて、「他者を理解し、積極的に関わる生徒」をめざす生徒像とし、「かかわる力」を育成するための授業を実践していくことにした。

ウ キャリア教育の観点から関連する教育活動をつなぐ

(ア) 「かかわる力」をはぐくむための全体構想

他者を理解し、積極的に関わる生徒を育成していくために、学級活動の題材「学校行事を成功させよう」におけるデイサービス訪問を核となる体験活動とし、くしま学や他教科の学習を意図的に関連づけた全体構想を作成した。

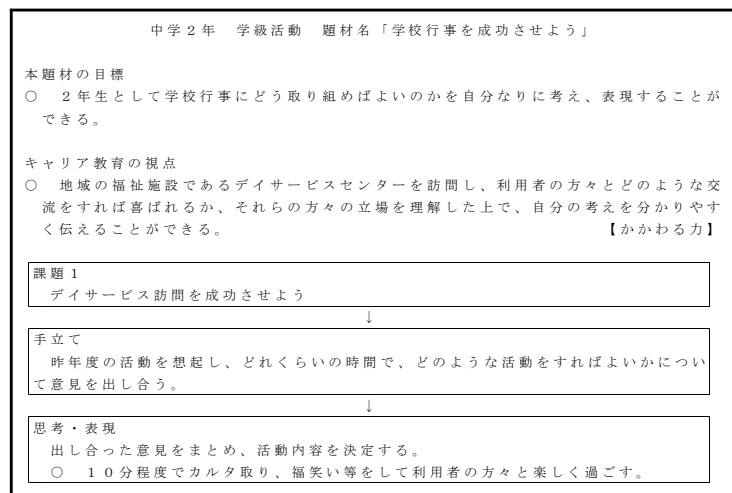
そして、各教科等での学びを関連付けることを意識して、「かかわる力」をはぐくむための手立てを工夫したり改善を図ったりしながら授業実践を行った。



【「かかわる力」をはぐくむための全体構想】

(イ) キャリア発達支援の流れ

核となる体験活動であるデイサービス訪問を実践するに当たり、キャリア教育の視点を意識することができるようにキャリア発達支援の流れを作成した。キャリア教育の視点からの問いを設定することで、昨年通りに終わらせればよいという安易な考えから脱却し、一つの行事の意義を理解することの大切さを実感することができた。



【キャリア発達支援の流れ】

エ 授業実践

(ア) 題材名 「学校行事を成功させよう」

(イ) 本時の目標

- 2年生として学校行事にどう取り組めばよいのかを自分なりに考え、表現することができる。

(ウ) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	○配慮事項 ◆授業中の生徒の反応 ☆評価(方法) !◎キャリア教育の視点から見た重要なこと!
<p>1 新生徒会役員、新全校専門委員長としての抱負を述べる。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>デイサービスセンターの利用者に喜ばれるような交流活動しよう!</p> </div>	<p>○ 自分の言葉で、率直な意見を述べさせる。</p>
<p>3 デイサービスセンターでの交流方法を考えて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度行ったことを想起し、今年度も取り入れられそうなものを個人で検討する。</li> <li>○ 昨年度行ったことをさらに工夫していくことができないかを考える。</li> </ul> <p>4 交流の内容について話し合い、発表する。</p> <p>5 利用者の方々に喜んでもらうための工夫を考えて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人で考える。</li> <li>○ デイサービスセンター利用者の声として「どんなことをしても楽しいよ」というものがあることを知り、その言葉が何を意味しているのかを考える。</li> </ul>	<p>○ ワークシートに書かせる時間を確保し、交流方法をしっかり考えさせる。</p> <p>!◎昨年度の交流内容を含め、これまでの経験の中で、今回の交流に生かせそうなものを自分の意見として出させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆ 昨年度行ったものを今年度も取り入れる。 ①折り紙 ②福笑い ③すごろく ④合唱</p> </div> <p>☆ 自分の意見を積極的に発表することができる。 (発表・観察)</p> <p>○ 話し合いの視点を示し、要点を効率よく検討させる。 〔話し合いの視点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備物として何が必要か。</li> <li>・時間はどれくらい必要か。 ・実行可能か。</li> </ul> <p>○ 単に交流活動を進めるだけではなく、どうすることが相手に喜ばれることになるのかを考えさせる。</p> <p>!◎これまでの学級活動の時間等に身につけた行動や考え方を交流活動に生かすことができないか検討させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆ とにかく笑顔で接し、常に言葉かけをする。 ◆ 実際に昼休み等に活動してみて、自分たちも楽しめるものを交流活動に取り入れる。</p> </div> <p>☆ 利用者の方々が心から喜ぶことは何かを考え出そうとしている。 (観察・ワークシート)</p>
<p>6 デイサービスセンターで交流活動をする意義を確認する。</p> <p>7 自己評価をする。</p>	<p>○ 昨年度までとは違う交流会にしていけるよう指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 場合によっては、デイサービスセンターでの交流に当たり、キャッチフレーズをつくらせる。</li> <li>○ 本時の学習について振り返らせる。</li> </ul>

オ 実践の考察

○ 学校行事等に対し、「これまで通り」の活動から抜け出し、活動する意義を考え、相手を意識して建設的な意見を出したり、意欲的な活動をしたりするようになってきた。

○ キャリア教育の視点を意識した授業を実践することで、現在の学びを将来につなげようとする生徒を育てることができ、これを改めて認識することができた。



(6) 中学校での実践 ～第3学年～

ア 課題の把握

本学級の生徒のキャリア教育の視点から見た課題を把握するために、アンケートを実施したところ、右の結果が得られた。

かかわる力	みつめる力	解決する力	えがく力
2. 8	2. 1	2. 3	2. 5

本学級の生徒は、「みつめる力」が低く、特に「不得意なことや苦手なことでも自ら進んで取り組もうとしていますか。」という質問項目は1. 8で最も低かった。

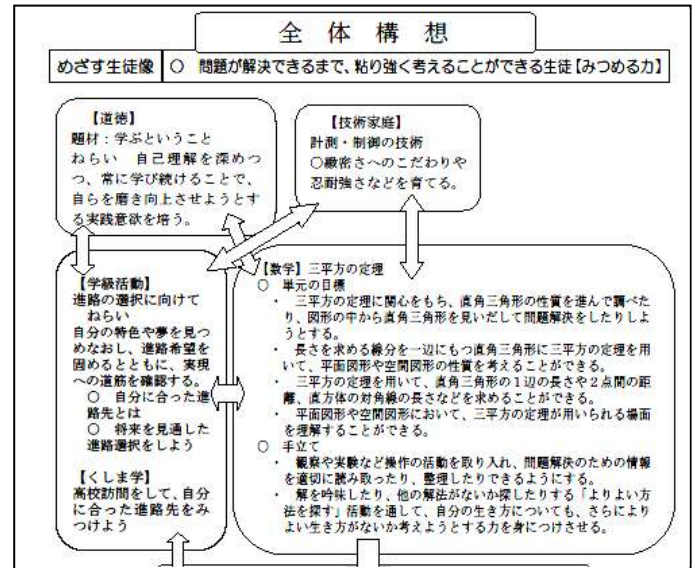
イ キャリア教育で育成したい具体的な力の設定

アンケートの結果を受けて、「問題が解決できるまで、粘り強く考えることができる生徒」を目指す生徒像とし、「みつめる力」を育成するための授業を実践していくことにした。

ウ キャリア教育の視点から関連する教育活動をつなぐ

(ア) 「みつめる力」をはぐくむための全体構想

問題が解決できるまで、粘り強く考えることができる生徒を育成するために、学級活動の題材「進路選択」を核となる体験活動とした。生徒のよりよい進路選択を支援するためには、学力の向上を図ることが不可欠である。そこで、教科の指導やくしま学の「高校訪問」などの学習が関連付けられると考え、全体構想を作成した。また、数学科の授業を構成するに当たり、数学科としての単元と他教科との関連も考慮するようにした。



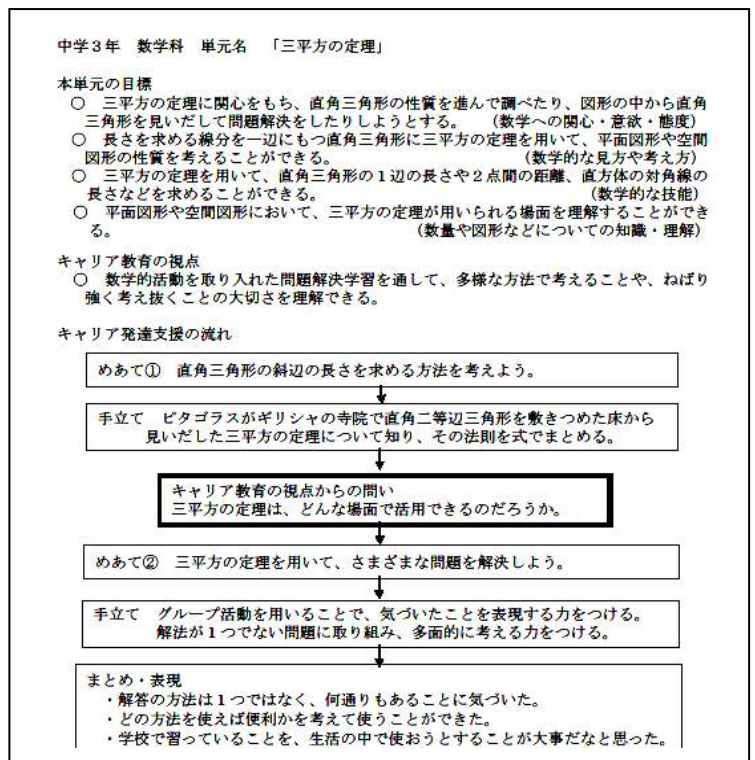
【「みつめる力」をはぐくむための全体構想】

(イ) キャリア発達支援の流れ

教科の指導をキャリア教育の視点をもって行うことができるように、キャリア発達支援の流れを作成した。

教科の指導をする上で、教科の目標を達成することは当然のことである。

これらの目標に加え、「キャリア教育の視点からの問い」を設定することで、どのような基礎的・汎用的能力を育成しようとしているかが明確に示される。また、教師がキャリア発達の支援を意識した単元の展開を構築することで、単元で身に付けさせる技能を教えるだけでなく、先人の知恵を伝えたり、定理の活用事例を検証したりする活動を取り入れた展開が計画できた。



【キャリア発達支援の流れ】

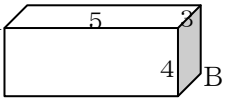


エ 授業実践

(ア) 単元名 「三平方の定理」

(イ) 本時の目標

- 三平方の定理を利用し、直方体の対角までの2点間の距離を求めることができる。

(ウ) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	○配慮事項 ◆授業中の児童の反応 ☆評価(方法)
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>3種類の材質(竹ひご、土、鉄)でできた直方体があります。この直方体の点Aから点Bに蟻が移動します。それぞれの直方体で、蟻が移動する最短距離を求めましょう。</p> 	<p>◎キャリア教育の視点から見た重要なこと!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 具体物を用いて、興味関心をもたせる。</li> <li>○ 竹ひごではどの道を通っても(5+4+3)の一通りの答えになることを全員で確認する。</li> </ul>
<p>2 土でできた直方体の移動距離を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人で考える。</li> <li>○ 計算し、周囲の生徒と答え合わせを行う。</li> </ul>  <p>3 鉄でできた直方体の移動距離を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人で考える。</li> <li>○ グループの生徒と答えを確認し解が3通り出ること気付く。</li> <li>○ 題意から、最短距離を求める必要があることに気付く。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 立体の中を蟻がもぐって進むことができるため、前時までに学習した空間図形における三平方の定理の利用が使えることに気付かせる。</li> </ul> <p>◎ 周りの生徒と協力して課題を解決できるようにする。</p> <p>◆ まず、上の面の対角線は<math>\sqrt{3^2+5^2} = \sqrt{9+25} = \sqrt{34}</math> さらに、<math>\sqrt{(\sqrt{34})^2+4^2} = \sqrt{34+16} = \sqrt{50} = 5\sqrt{2}</math> となる。</p> <p>◆ 公式を使い、<math>\sqrt{3^2+5^2+4^2} = \sqrt{9+25+16} = \sqrt{50} = 5\sqrt{2}</math></p> <p>☆ 対角の2点間の距離を求めることができる。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実際に直方体の模型を展開させることで、展開図(そのうちA、Bを含む2面)を利用し、AとBを結んだ距離が最短距離であることをつかませ、三平方の定理を利用して解決させる。</li> </ul> <p>◎ グループでの話合いで、通った面によって距離が異なることに気付かせ、あらゆる可能性を考える必要性に気づかせ。また、自分の考えを自分の言葉で説明させるようにする。</p> <p>◆ 展開図の向きによって、違う答えが出る。</p> <p>◆ 自分の班は、まっさきに<math>\sqrt{74}</math>が出たのであまり考えなかったけれど、他のグループはきちんと比べていた。</p> <p>☆ 自分の意見をまとめ、他の人に説明できたか。(発表)</p>
<p>4 本時の学習のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師の話聞く</li> <li>○ 自己評価を記入する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本定理が生活の中で役立つ場面があることをおさえる。</li> </ul> <p>◎ 数学では、題意をつかみ、可能性をすべて調べ上げて解答する必要があることを確認するとともに、その方法が将来、自分の生き方を選ぶ時も活用できることに気付かせる。</p>

オ 実践の考察

- 本実践のような取組を積み重ねることにより、7月に比べ、「みつめる力」が0.7伸びた。また、生徒が粘り強く思考するようになり、各種のテストで記述式の解答率や、数学的な見方や考え方の正答率が上昇しており、研究の成果がみられた。

	かかわる力	みつめる力	解決する力	えがく力
7月	2.8	2.1	2.3	2.5
12月	2.7	<u>2.8</u>	2.5	3.0

- 数学の授業だけでなく、学級での諸活動においても、最後まで熱心に取り組む生徒が増えた。
- キャリア教育の視点を意識し、問題解決型の学習課題を取り入れるよさが確認できたが、計画的な取組にしていくための単元の時間配分の工夫が必要である。

## Ⅶ 成果と課題

### 1 成果

- キャリア教育を推進するに当たって、教える側の教職員がキャリア教育についての理解を深めるためのリーフレット「キャリア教育の道しるべ」を作成したことにより、キャリア教育の意義及び一貫した指導の手順を具体的に把握することができた。
- キャリア教育で育成すべき力の全体構想やキャリア発達支援の流れを作成し、実践したことで、教科等を関連付けた指導の在り方が分かり、見通しをもって授業を進めることができるようになった。
- キャリア発達を支援する授業実践は、個々の児童生徒の課題意識を高め、課題解決に向けて主体的に取り組む児童生徒を育成する手立てにつながった。

### 2 課題

- キャリア教育の進め方や授業の在り方について、一貫教育担当者会等との連携を図り、学校間で情報を共有しながら、キャリア教育の視点から見た授業を広げる必要がある。
- 小中学校を見通したキャリア教育の成果を見届けるために、児童生徒のキャリアが日々の授業でどのように変容したかについて把握する評価の仕方とその生かし方について研究する必要がある。
- 児童生徒のキャリア発達を支援するために、キャリア教育の中心となる体験活動を児童生徒の発達段階に応じて系統的に指導できるよう、さらに研究を深めていく必要がある。

### 【引用・参考文献】

- ・小学校 キャリア教育の手引き [平成23年5月 文部科学省]
- ・中学校 キャリア教育の手引き [平成23年5月 文部科学省]
- ・小学校 学習指導要領解説 生活編 [平成20年8月 文部科学省]
- ・キャリア教育って結局なんだ? [平成21年11月 国立教育制作研究所]
- ・宮崎県キャリア教育ガイドライン [平成25年1月 宮崎県教育委員会]
- ・平成23年度研究紀要 [平成24年2月 串間市教育研究所]
- ・平成24年度研究紀要 [平成25年2月 串間市教育研究所]

### 【研究同人】

所長	土肥 昭彦 (串間市教育長)	
事務局	都成 量 (学校政策課長)	野邊 幸治 (学校政策課長補佐)
指導員	重盛 文人 (指導主事)	
研究員	塩月 貴 (金谷小学校教頭)	朝倉 千恵 (福島小学校)
	幸松 伸代 (笠祇小学校)	外山 弥枝 (都井小学校)
	坂本 結香 (福島中学校)	野邊 智亮 (大東中学校)
	山下 広志 (市木中学校)	



# キャリア教育の道しるべ

全国的に子どもたちの充実感と明日への希望をいっばいにするために12年間を見通したキャリア教育の推進が図られています。串間市教育研究所では、私たち教職員がキャリア教育をより一層理解を深めていくために、キャリア教育の手引き（文部科学省）を参考にして、本リーフレット「キャリア教育の道しるべ」を作成しました。

## キャリア発達とは…

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

人は様々な役割を果たしながら活動することを通して、他者や社会との関わり、その関わりの積み重ねが「自分らしい生き方」となっています。



## キャリア教育の背景

社会環境の変化（情報化・グローバル化等）

変化に対応する力  
課題に柔軟に対応する力

## キャリア教育とは…

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

キャリア教育は、子ども・若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目指す教育的働きかけです。子どもたちが未来を切り拓く力を身につけるための教育、職業的・社会的に自立することを支援する教育が求められています。

☆一言でいうと子どもたち一人一人の今と未来を  
自分自身と社会とをつなぐ・つなげる教育

## 串間市におけるキャリア教育

一貫教育の目標  
学力向上・地域に貢献できる人材の育成

将来への展望（夢）・学力向上

学習意欲の向上や強化 主体的な学び

・今の学習が将来どのように役立つのかという発見や自覚

・心を揺さぶられる体験

発達段階に応じたキャリア教育の  
視点からの指導の充実

つなぐ・つなげる教育

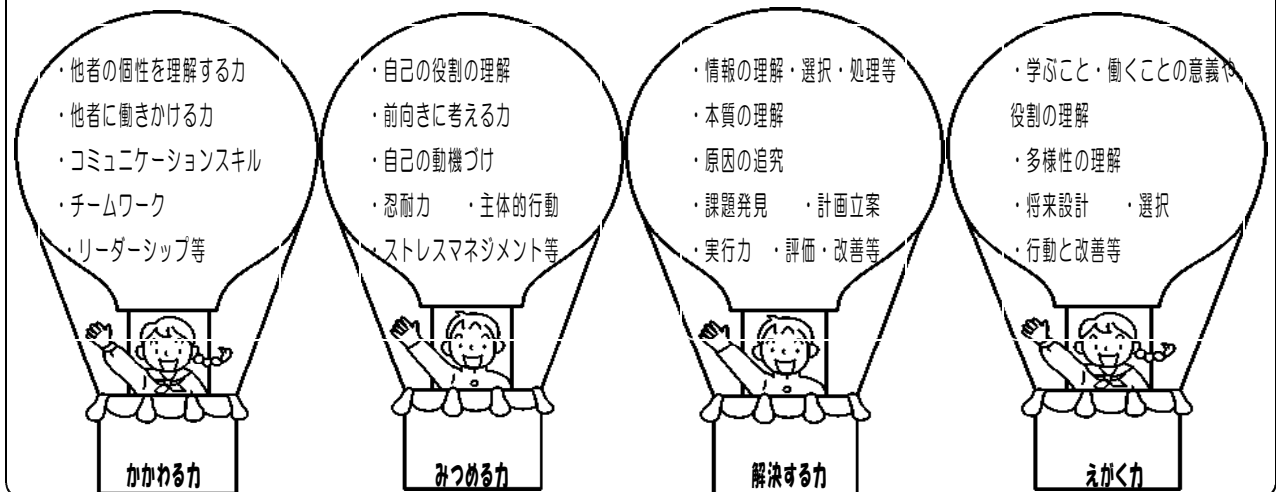




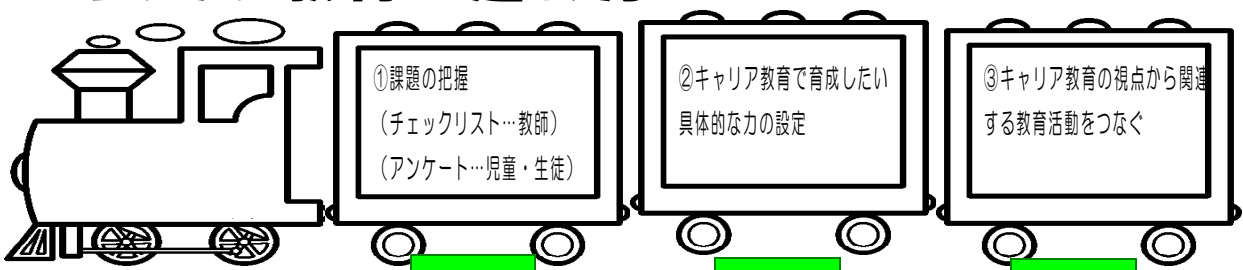
## ☆ キャリア教育で育む力

児童生徒一人一人のキャリア発達を促し、それぞれふさわしいキャリアを形成していくために必要な基盤となる能力や態度である4つの「基礎的・汎用的能力」を次の能力とすることにしました。

- **人や社会にかかわる力** ← 人間関係形成・社会形成能力  
多様な他者の考え方や立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。
- **自分を見つめる力** ← 自己理解・自己管理能力  
自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。
- **課題を解決する力** ← 課題対応能力  
仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。
- **将来をえがく力** ← キャリアプランニング能力  
「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。



## ☆ キャリア教育の進め方



実際に授業を構想していくためには右のような手順で進めていきます。

(小学校低学年例)

チェックリストより「みつめる力」に課題がある児童が多いことが分かった。  
(教師、児童生徒、地域の実態)

【キャリア教育の視点】  
○自分を見つめる力を育てること  
→ **課題**  
課題が解決した目指す児童の姿を考える。  
うまくできないことでも挑戦する児童

「みつめる力」を育てるためにキャリア教育に関連させた教育活動を**核となる体験活動**をもとにつなげて展開していく。  
[道徳]…あきらめないで(勤勉・努力)  
[体育]…なわとび じきゅうそう  
[生活]…みんなみんなだいすきだよ  
[学活]…いっぱいできるようになったね

つながり



○ キャリア教育を進める最初の段階に、児童生徒のキャリア教育の視点から見た課題を把握する必要があります。右に載せているアンケートは、小学校4～6年用のアンケートです。このアンケートをもとにキャリア教育ではなくむ力のどれに課題があるかを把握し、授業を構想していきます。児童生徒用、教師用、保護者用などさまざまな立場からアンケート等を取り、課題を把握し実態をつかみます。

小学校1～3学年用、4～6学年用、中学校用、教師用、保護者用を作成しています。



日常生活アンケート（4～6学年用）

年 名前（ ）

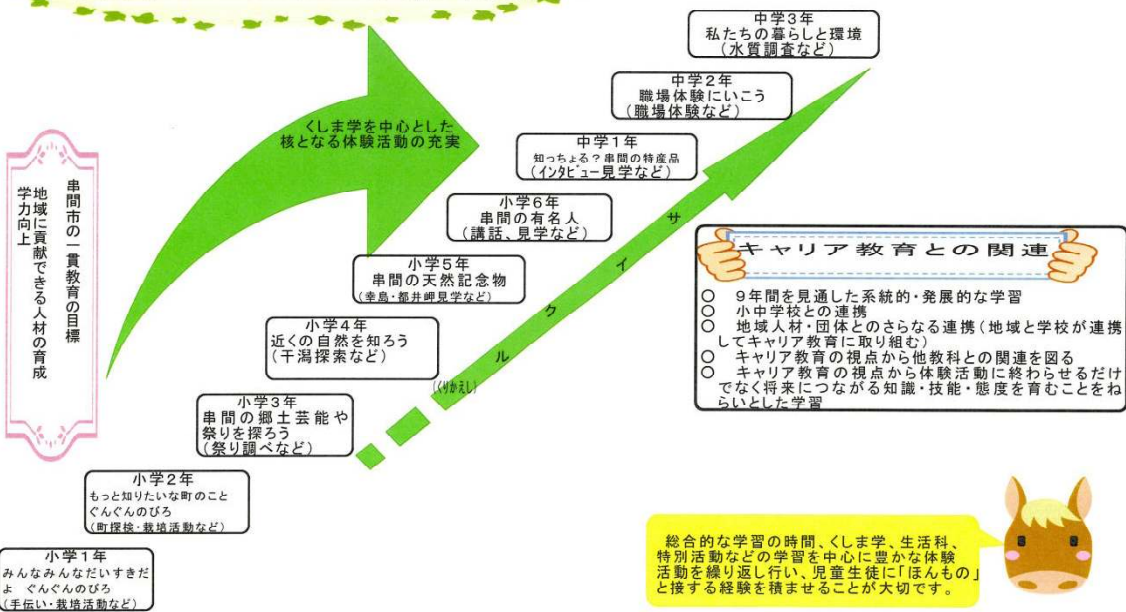
これはテストではありません。あなたの日常生活（授業中や放課後、家庭での生活など全てを含みます）の様子を振り返って、当てはまる番号に○をつけましょう。

4…いつもしている 3…ときどきしている 2…あまりしてない 1…ほとんどしてない

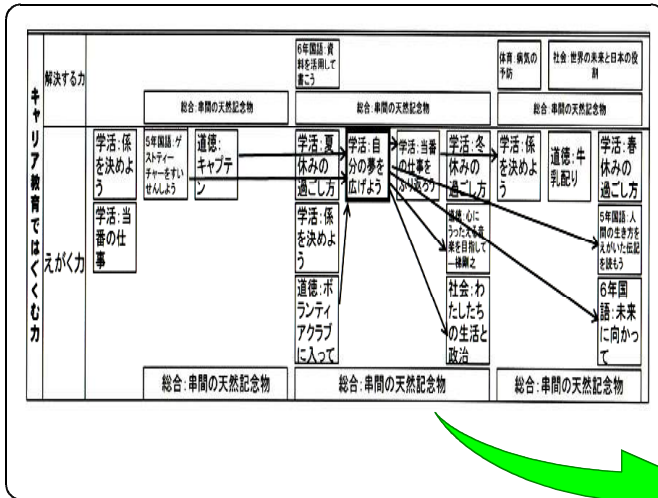
①	友達や家族の話を聞くとき、その人の言いたいことや気持ちを考えながら聞こうとしていますか。	4	3	2	1
②	相手にわかりやすいように、工夫しながら自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。	4	3	2	1
③	自分から役割や仕事を見つけたら、分担したりしながら、友達と協力して行動しようとしていますか。	4	3	2	1
④	自分の興味や関心、長所や短所などについて考えようとしていますか。	4	3	2	1
⑤	気分がしずんでいるときや、あまりやる気がないことでも、自分が必要なければいけないことに取り組もうとしていますか。	4	3	2	1
⑥	不得意なことや苦手なことでも、自分から進んで取り組もうとしていますか。	4	3	2	1
⑦	わからないことやもっと知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたりだれかに質問したりしていますか。	4	3	2	1
⑧	何か問題が起きたとき、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えていますか。	4	3	2	1
⑨	何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、よりよい方法を考えたりしていますか。	4	3	2	1
⑩	学ぶことや働くことの大切さを考えたり、学校で学んでいることが自分の将来に役立つことを考えたりしていますか。	4	3	2	1
⑪	自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えていますか。	4	3	2	1
⑫	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。	4	3	2	1

○ 核となる体験活動は、くしま学を含む総合的な学習の時間、生活科、特別活動など豊かな体験活動を繰り返し行える教科等から設定し、キャリア教育の視点にたって授業を構想していくことが大切です。串間市では、全小中学校でくしま学において共通単元を学習しています。その豊かな体験活動をもとに授業を組み立てていくと、児童・生徒にとって系統的・発展的な学習になっていくと考えられます。

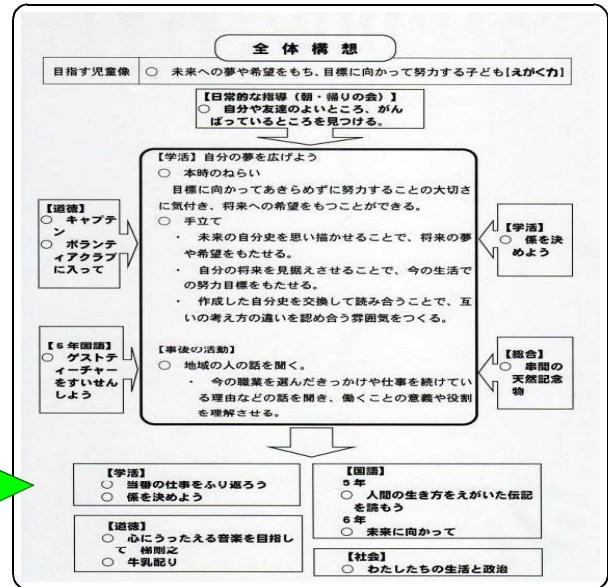
串間市における主な体験活動例



- 重点を置いたキャリア教育ではぐくむ力を決めたら、以下のような全体を見通せる指導計画をもとに、発達段階を考慮して育成すべき能力に焦点化できる単元を選択し実践化を図っていきます。その際、他教科とのつながりも考え、核となる体験活動を決定し、具体的な手立ての工夫や改善を行っていきます。



【年間指導計画一部抜粋】  
（小学校5・6年生例）



【育成したいキャリア教育の力の全体構想】

- キャリア教育の視点から見た授業を進めるにあたっては、教師が一単位時間に限らず単元等を通して、キャリア教育を意識しながら授業を行っていくことが大切です。そこで、授業の中で、キャリア教育の視点からの問い等を意識するように「キャリア発達支援の流れ」という作業シートを作成して授業を行っていくと、重点を置いたキャリア教育ではぐくむ力の育成に迫ることができます。



他教科や日常での学びが今の学習につながっていることに気づかせることが大切です。

1年 生活科 単元名「みんな みんな だいじきだよ」

教科の目標  
○ 家庭生活は、家族の仕事や役割によって支えられていることに気づき、家族の一員として自分のできることを考え、進んで自分の役割を果たすとともに、規則正しい生活を送ることができる。  
キャリア教育の視点  
○ 自分ができないことでもあきらめずに進んで取り組むことができる。【みづめりか】

気づき・表現  
自分を中心にして家族がどのようなことをしてくれているか調べ、家族が自分のためにやってくれていることに気づかせる。【1時間】

めあて  
いえるめいじんを さがそう。（自分の家族の仕事や問題などを調べよう。）【2時間】

手立て  
家の お仕事名人 ワォッチングをする。

気づき・表現  
自分が見つけたお仕事名人についてまとめ、友だちに紹介し、自分にもできそうなやってみる仕事に挑戦する計画を立てる。【2時間】

キャリア教育の視点からの問い  
自分たちは家族のために進んで仕事をやっているかな。家族のためにできる仕事を増やすにはどうすればいいかな。

めあて  
「おうちのしごと」めいじんにしごとのこつを 話し合ってもらおう。【4時間】

手立て  
家の仕事名人に仕事のこつを教えてもらい、家で挑戦することを考え、実践する。

気づき・表現  
教えてもらった仕事のこつをワークシートにまとめる。【2時間】

めあて  
いえてちょうせんしたことを ともだちに しょうかいしよう。【3時間】

気づき・表現  
発表に必要ものを準備し、友だちに紹介しよう。

手立て  
A-7シートと発表用カードをつくる。【2時間】

キャリア教育の視点からの問い  
友だちの発表から他にも挑戦できそうなことはないかな。

めあて  
いさんのしごとなを さめてやってみよう。【1時間】

手立て  
家族のために役立つ仕事を考え、自分できめた仕事をやってみる。家で仕事をした感想を発表しよう。

キャリア教育の視点からの問い  
今までできなかった仕事ができるようになってどう思ったかな。

まとめ  
自分のために仕事はこれから続けてみよう。他にも挑戦したいことはいくらあるかな。

【小学校1年、生活科の作業シート】

平成25年度串間市教育研究所

塩月 貴（金谷小学校）	朝倉 千恵（福島小学校）	幸松 伸代（笠祇小学校）
外山 弥枝（都井小学校）	坂本 結香（福島中学校）	野邊 智亮（大東中学校）
山下 広志（市木中学校）		

にちじゅうせいかつ がくねんよう  
**日常生活アンケート(1~3学年用)**

( )年 ( )組 名前 ( )

◇ これはテストではありません。あなたのいつもの生活（じゅぎょう中やほうかご、かていで生活などすべてをふくみます）をふりかえって、あてはまるばんごうに○をつけましょう。

4…いつもよくしている    3…ときどきしている    2…あまりしていない    1…ほとんどしていない

①	ともだちや いえの人の はなしを きくとき、はなす人の かんがえや きもちを わかろうと していますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
②	じぶんの かんがえや きもちを みんなの前で わかりやすく 話そうとしていますか？	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
③	じぶんから しごとを 見つけて、ともだちと 力を 合わせて がんばることが できますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
④	じぶんの すきなこと、よいところや わるいところなどが わかりますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
⑤	いやなことや やる気の出ないことでも じぶんが しなければ いけないことには とりくもうとしていますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
⑥	うまくできないことにも、じぶんから すすんで とりくもうと していますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
⑦	わからないことや もっと知りたいことが あるとき、じぶんか ら すすんで しらべたり、だれかに きいたり していますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
⑧	こまったことが あったとき、つぎに おなじようなことで こまらないように、なにを すればよいか かんがえていますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
⑨	なにかを するとき、やるじゅんばんや やり方をかんがえて すすめたり、もっといい やり方にかえたりしていますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
⑩	べんきょうすることや はたらくことの 大切さについて かん がえたり、学校でべんきょうしていることが しょうらい やくに 立つことを かんがえたりしていますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
⑪	じぶんの しょうらいのゆめについて、かんがえていますか。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
⑫	じぶんの しょうらいのゆめに むかって がんばっています か。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>

## 日常生活アンケート（４～６学年用）

（ ）年（ ）組 名前（ ）

これはテストではありません。あなたの日常生活（授業中や放課後、家庭での生活など全てを含みます）の様子を振り返って、当てはまる番号に○をつけましょう。

4…いつもしている 3…ときどきしている 2…あまりしていない 1…ほとんどしていない

①	友達や家族の話を聞くと、その人の言いたいことや気持ちを考えながら聞こうとしていますか。	4	3	2	1
②	相手にわかりやすいように、工夫しながら自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。	4	3	2	1
③	自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、友達と協力して行動しようとしていますか。	4	3	2	1
④	自分の興味や関心、長所や短所などについて考えようとしていますか。	4	3	2	1
⑤	気分がしずんでいるときや、あまりやる気がないことでも、自分がしなければいけないことに取り組もうとしていますか。	4	3	2	1
⑥	不得意なことや苦手なことでも、自分から進んで取り組もうとしていますか。	4	3	2	1
⑦	わからないことやもっと知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたりだれかに質問したりしていますか。	4	3	2	1
⑧	何か問題が起きたとき、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えていますか。	4	3	2	1
⑨	何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、よりよい方法を考えたりしていますか。	4	3	2	1
⑩	学ぶことや働くことの大切さを考えたり、学校で学んでいることが自分の将来に役立つことを考えたりしていますか。	4	3	2	1
⑪	自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えていますか。	4	3	2	1
⑫	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。	4	3	2	1

## 学校生活アンケート(中学生用)

( )年( )組 氏名( )

これまでの学校生活を振り返って、自分が当てはまる数字に○をつけましょう。

**4…いつもしている 3…時々している 2…あまりしていない 1…ほとんどしていない**

1	適切な言葉づかいで、相手や場面に応じたあいさつや返事ができる。	4	3	2	1
2	自分と違う意見を受け入れながら、自分の考えを適切に伝えることができる。	4	3	2	1
3	周りの人に配慮しながら、積極的によい人間関係をつくろうとしている。	4	3	2	1
4	人のよさや気持ちを尊重しながら、協力して仕事や活動することができる。	4	3	2	1
5	グループ活動で、班長やまとめ役となって、他の意見をまとめながら活動することができる。	4	3	2	1
6	自分の長所や個性を理解し、自分を大切にできる。	4	3	2	1
7	自分の個性や興味・関心を生かした活動等を選択できる。	4	3	2	1
8	自分で選んだことや行動したことは、自分で責任を持つことができる。	4	3	2	1
9	気持ちが乗らない時や、あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組むことができる。	4	3	2	1
10	自分の欠点に気づき、改善しようと努力することができる。	4	3	2	1
11	不得意なことや苦手のことでも、自ら進んで取り組むことができる。	4	3	2	1
12	分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集したり、誰かに質問したりできる。	4	3	2	1
13	何か問題が起きた時、繰り返さないように、どうすればよいか考えることができる。	4	3	2	1
14	自分の係や仕事に対して、意欲的に取り組むことができる。	4	3	2	1
15	困難な課題や苦手な学習や活動に対して、最後まで取り組んでいる。	4	3	2	1
16	何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、その方法にやり方について改善を図ったりしている。	4	3	2	1
17	学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしている。	4	3	2	1
18	自分の将来のために、今の学習や活動は意義があり、大切であると思う。	4	3	2	1
19	希望の進路を実現させるための課題を理解し、進路に関する情報を集めたり、調べたりしている。	4	3	2	1
20	自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えている。	4	3	2	1
21	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしている。	4	3	2	1



## 日常生活アンケート（保護者用）

年 名前（ \_\_\_\_\_ ）

お子さんについて、日常生活（授業中や放課後、家庭での生活など全てを含みます）の様子を振り返り、当てはまる番号に○をつけてください。

**4…いつもしている    3…ときどきしている    2…あまりしていない    1…ほとんどしていない**

<b>①</b>	友達や家族の話を聞くと、その人の言いたいことや気持ちを考えながら聞こうとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>②</b>	相手にわかりやすいように、工夫しながら自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>③</b>	自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、友達と協力して行動しようとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>④</b>	自分の興味や関心、長所や短所などについて考えようとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑤</b>	気分が沈んでいるときや、あまりやる気がないことでも、自分がしなければいけないことに取り組もうとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑥</b>	不得意なことや苦手なことでも、自分から進んで取り組もうとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑦</b>	わからないことやもっと知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑧</b>	何か問題が起きたとき、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑨</b>	何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、よりよい方法を考えたりしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑩</b>	学ぶことや働くことの大切さを考えたり、学校で学んでいることが自分の将来に役立つことを考えたりしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑪</b>	自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑫</b>	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>

## 日常生活チェックシート（教師用）

名前（ \_\_\_\_\_ ）

担任をしている学級の児童について、日常生活（授業中や放課後、家庭での生活など全てを含みます）の様子を振り返り、当てはまる番号に○をつけてください。

**4…いつもしている    3…ときどきしている    2…あまりしていない    1…ほとんどしていない**

<b>①</b>	友達や家族の話を聞くと、その人の言いたいことや気持ちを考えながら聞こうとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>②</b>	相手にわかりやすいように、工夫しながら自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>③</b>	自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、友達と協力して行動しようとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>④</b>	自分の興味や関心、長所や短所などについて考えようとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑤</b>	気分が沈んでいるときや、あまりやる気がないことでも、自分がしなければいけないことに取り組もうとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑥</b>	不得意なことや苦手なことでも、自分から進んで取り組もうとしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑦</b>	わからないことやもっと知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑧</b>	何か問題が起きたとき、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑨</b>	何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、よりよい方法を考えたりしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑩</b>	学ぶことや働くことの大切さを考えたり、学校で学んでいることが自分の将来に役立つことを考えたりしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑪</b>	自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>⑫</b>	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしている。	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>